

平成 30 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「チレジ郡チコンベジ・ミッション病院におけるレントゲン機材整備計画」引渡式

11月29日（金）、チレジ郡チコンベジ・ミッション病院において、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「チレジ郡チコンベジ・ミッション病院におけるレントゲン機材整備計画」（レントゲン機材資金等の提供）により、整備された設備の引渡式が開催されました。

同プロジェクトは、日本製のデジタル式レントゲン機材を整備することで、効率的かつ精度の高い検査診断を実現し、貧困状況にある地域住民への適切な医療の提供を図るもので、同地域で活動しているNGO「ソリダールメド ジンバブエ」により実施されました。

同プロジェクトが完成する以前は、長年にわたりレントゲン機材がなかったため、レントゲンによる診察が必要な場合には、遠く離れた病院まで出向かなければならず、患者への経済的・身体的負担が大きいのが状態でした。

引渡式に出席した岩藤大使は、低コストで正確かつ迅速な診断を可能にする日本の高品質なレントゲン機材が、今後長年にわたり地域住民に質の良い医療を提供することを期待すると述べました。また、病院及びコミュニティに対して、機材の適切な管理を呼びかけました。



引渡式の様子



除幕式



大使スピーチ



機材のブリーフィング



病院内視察



地元の子どもたち



レントゲン機材



周辺機器